

新毎日

11月17日(火)

2009年(平成21年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

東京

2009年(平成21年)11月17日(火)

「東京写真」作品並ぶ

きょうから「観る、読む展」

世田谷

東京のさまざまな表(白新聞社など共催)が情を切り取った写真を17日から、世田谷区桜展示する第5回「『東京』を観る、『東京』を読む。『展』(日本大学文学部主催、毎部社会学科の後藤範章教授のゼミ生の作品の

ほか、毎日新聞東京地域面(東京、下町、多摩、武蔵野面)で07年12月から連載されている「東京写真」、東京新聞掲載の「東京Oh!」のジョイント展とになっている。
「東京写真…新聞ジャーナリズムと社会



会場の設営をする後藤ゼミの学生ら

学」がメインテーマ。会場では、メインとサブ作品の計約90点が展示される。毎日新聞社会部記者が、普段何気なく目にする風景を後世に残すべき「時代の記憶」として切り取った「東京写真」からは、

西新宿1丁目のチンドン屋や墨田区に建設中の東京スカイツリーなど15点を出展。
21日午後3時半から、毎日新聞外信部の佐藤賢二郎記者や東京新聞写真部カメラマン、後藤ゼミ生によるトークセッションもある。後藤教授は「三者三様の視点による作品を並べることで化学反応が引き起こされ、新しい『東京』や『東京人』像が浮かび上がってくるのではないかと話している。26日まで。入場無料。午前10時〜午後7時。問い合わせは同学科事務室(03・53317・9713)。【小泉大士】

東京写真 あの1枚

六本木
7丁目

日本でない驚き

東京に生まれ育ったが、都心のだ真ん中に米軍基地があるとは知らず、初めて行って驚いた。日本であって日本ではない場所がそこにある。沖縄で基地問題が今再び揺れている。現地の住民の気持ちを少しでも知りたければ、六本木7丁目ま

で足を運び、ヘリの爆音にさらされるという手もあるだろう。

【真野森作、写真も】

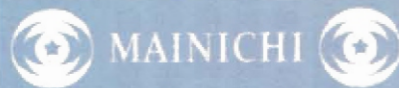
◇

日曜日を中心に07年12月から、この紙面に掲載している「東京写真」などを集めた第5回「『東京』を観る、『東京』を読む。」展(日本大学文理学部主催、毎日新聞社など共

催)が世田谷区桜上水の同学部百周年記念館で17日始まった。

同学部社会学科の後藤範章教授のゼミ生の作品なども展示。東京の現代風景を一覧できる。「東京写真」は、記者が普段何気なく目にする風景を後世に残すべき「時代の記憶」として切り取った。写真展は28日まで。入場無料。午前10時～午後7時。問い合わせは同学科事務室(03・5317・9713)。

六本木7丁目にある23区唯一の米軍基地・赤坂アレスセンター。「Army Area」の看板がものものしい。都と港区は返還を要求し続けている。08年10月15日紙面掲載・東京写真



新毎日

11月19日(木)

2009年(平成21年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社

新毎日

「東京写真」など90点

日大でギャラリートーク 本紙佐藤記者が説明

世田谷区桜上水の日
本大学文学部百周年
記念館で21日、「東京
写真」をめぐるギャ
ラリートークが開か
れ、日大の学生らが集
まった。

17日から開かれてい
る第5回「『東京』を
読む、『東京』を説
く」展(同学部主
催、毎日新聞社など共
催)の一環。同展には、
同学部社会学科の後藤
範章教授のゼミ生の作
品のほか、毎日新聞東
京地域面(東京、下町、

多摩、武蔵野面)で07
年12月から連載されて
いる「東京写真」など
約90点が展示されてい
る。
ギャラリートークで
は、毎日新聞外信部の
佐藤賢二郎記
者が「東京の
街を一番歩い
ている社会部
の記者が、街
の風景を切り
取るというこ
とは、何らか
の資料になる
のではない



かなどと、「東京写
真」の狙いについて説
明。東京新聞写真部力
を語った。

同展は、26日まで午
前10時〜午後7時。入
場無料。【田村彰子】



「東京写真」などについて語る佐藤記者(左)と世田谷区桜上水の日本大学文学部百周年記念館で

東京写真 09 町屋の行商人

京成本線町屋駅(荒川区)の改札を出てすぐのロータリーに露店を広げ、月曜から金曜まで、毎日欠かさず野菜や総菜を販売する人々がいる。千葉方面から京成本線の行商列車に乗ってやってくるおばあちゃんたちだ。

千葉県佐倉市の河井はなさん(90)＝写真右＝は、地元のキュウリやシタケ、八街市の落花生、酒々井町の農家の女性たちが作ったおこわやおまんじゅうを並べ、その奥にでんと腰掛け

る。「この間買ったらおいしかったの」「食べ始めると止まらないのよ」……。飛ぶように売れる。

ここで行商を始めて70年。目の前を流れていた川は埋め立てられ、商業ビルも建ち並び、街の表情は大きく変わった。「でも一番変わったのは、お客さん。今の若い人、余分なものは絶対買わないの。あとはレディー(おしゃれ)に使うのね。私たちも見習わなきゃ」

【市川明代】

東京

TOKYO

tokyo@mbx.mainichi.co.jp



新毎日

11月23日(月)

2009年(平成21年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社

東京写真あの1枚 築地

今も話題の中心

外国人見学者のマナーの悪さから見学が中止になりそうと聞き、築地に行ってみた。確かにさまざまな国の人が案内役も無しに続々と訪れる光景には驚かされた。結局、昨年は年末年始の見学は中止となった。今年も同様だ。マグロの漁獲制限

や市場の移転問題などで、築地は今も話題の中心にある。

【合田月美、写真も】

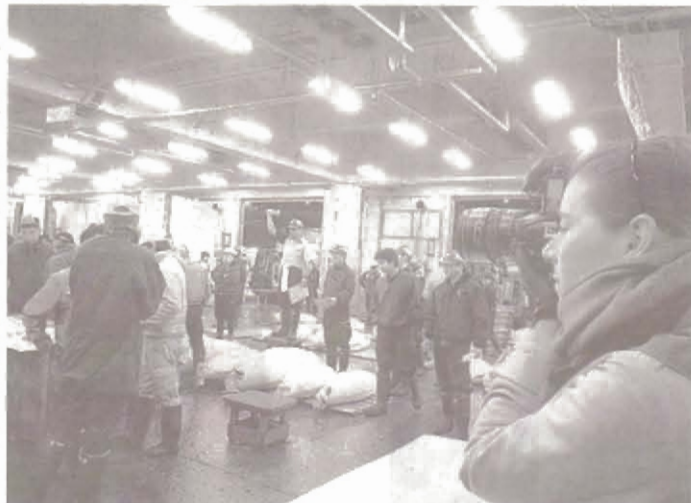


07年12月から連載中の「東京写真」などを集めた第5回「『東京』を観る、『東京』を読む。展」(日本大学文理学部主催、毎日新聞社など共催)が世田谷区桜上水の同学

部百周年記念館で開かれている。

同学部社会学科の後藤範章教授のゼミ生の作品なども展示。東京の現代風景を一覧できる。「東京写真」は、記者が普段何気なく目にする風景を後世に残すべく「時代の記憶」として切り取った。

写真展は26日まで。入場無料。午前10時～午後7時。問い合わせは同学科事務室(03・5317-9713)。



マグロの競りなどが行われる早朝の築地市場。東京観光の穴場「ツナ・マーケット」として海外でも有名だ。見学者通路はカメラを構えた観光客でいっぱいになった。08年12月8日紙面掲載・東京写真

2009年(平成21年)11月26日(木)

東京

東京写真 あの1枚 上野大仏

受験生が祈願

台東区上野公園に、知る人ぞ知る「上野大仏」があると聞き、訪れた。1631年建立。関東大震災で頭部が落下、戦時中に胴体が供出されたが、頭部はひそかに保管された。戦後、旧跡に戻ってレリーフ化され、「これ以上落ちない」と受験生が合格祈願するようになった。

今年度も間もなく受験の季節を迎える。

【井崎憲、写真も】

◇

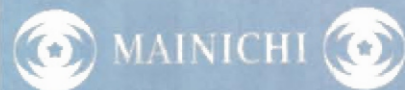
07年12月から連載中の「東京写真」などを集めた第5回「『東京』を視る、『東京』を読む。」展(日本大学文理学部主催、毎日新聞社など共催)が世田谷区桜上水の同学部百周年記念館で開かれている。

同学部社会学科の後藤範章教授のゼミ生の作品なども展示。東京の現代風景を一覧できる。「東京写真」は、記者が普段何気なく目にする風景を後世に残すべき「時代の記憶」として切り取った。

きょうまで

写真展は26日まで。入場無料。午前10時～午後7時。問い合わせは同学科事務室(03・5317・9713)。

上野公園内にある上野大仏には、外国人観光客も興味津々。08年9月7日紙面掲載・東京写真



新毎日 新聞日

11月26日(木)

2009年(平成21年)

発行所: 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社